

二月例会 御案内 時代を刷新する会

(平成三十年・通算第三七二回)

○ 御案内

二月十四日(水)十一時半入館可、正午～午後二時半 参議院議員会館地下一階B一〇二会議室
講師 高橋利行先生(政治評論家、元読売新聞論説委員・編集局次長・新聞監査委員長)
トランプ氏が大統領に就任して一年が経ちました。その間にも、外交・経済をはじめいろいろとその言動が問題になりましたが、一年経ったアメリカ国内の現状を見ますと、民主党支持者からの批判が多いのは当然としても、共和党支持者からの支持はなお根強いものがあり、大型減税をした効果もあって、アメリカ経済は回復し、好景気を現出しております。
反面、心配なのは、大統領選挙中から出ていた、トランプ陣営が秘かにロシア政権側と連携し、クリントン陣営に妨害をしかけていたのではないかと、といういわゆる「ロシア疑惑」です。アメリカには大統領免職の制度があり、そのための特別検察官が、側近者や側近だった人々の尋問を終わりに、近く大統領本人を尋問する事態になっております。日米は強固な同盟国ですが、それだけに、もしもの事態への対処を考えておく必要があります。そこで、国内政治ばかりではなく、こうした課題にも注目しておられる高橋利行先生に御解説をいただきます。御参加を！(清原記)
□ 当日会費(昼食付き) 会員は四千円、非会員五千円。

時代を刷新する会

二月十四日(水)の月例会に

当日連絡先 080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津

(通話のみ)

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

http://www.jidaisassin.jp
電話 03-3272-4320
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様の FAX
メール

▽二月九日(金)までに欠の御連絡賜りたく。

◎ 御報告

正月十五日には、慣例により、当「公益財団法人 協和協会」と「時代を刷新する会」共催の「新春懇親会——安倍政権で外患内憂の克服を——」が、ホテル・ルポール麹町にて開催された。正午に開会宣言後、まず、安倍晋三内閣総理大臣から頂戴した御丁寧な祝電が、壇上において清原淳平専務理事より、代読御披露された。続いての、岸信夫会長代行の年頭挨拶は、岸信夫衆議院議員が、昨年の外務副大臣のあと衆議院議院運営委員会理事・自民党国会対策副委員長という、国会から離れられない要職にあったので、この国会開会前のお正月は、地元行事が重なり、御欠席となったので、御起案いただいた「年頭挨拶」は、議員会館結めの永瀬祐見子秘書さんが壇上にて代読した。全力を挙げて安倍内閣を支えて行くとの御信念で、一同決意を新たにされた。そのあと、半田晴久理事長が「年頭挨拶」に立ち、学校を経営し事業を支援し、芸術、演劇、また、ゴルフやサッカーなどスポーツも支援してきているが、すべて共通して言えることは、心・技・体が整っていることであり、さらに、それに高い志と情熱があつてこそ、ことは成功する。私は、志を高く持って、今年も協和協会、時代を刷新する会を支えて行く所存です。皆さんも、どうか志を高く持って、協和協会、時代を刷新する会の活動に取り組んでいただきたいと結んで、盛大な拍手を浴びました。
次いで、大野功統元防衛庁長官が乾杯の音頭をとり、食事に入り、その後、両団体の部長や委員長をはじめ、参加会員から発言が相次ぎ、新春懇談会にふさわしい、和やかな会合でした。この新春懇親会については、事務局で、その「写真報告」を編集しておりますので、二月例会当日には配付いたします。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理がそうであったように、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。の部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府へ提出している。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代会長の塩川正十郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員、前外務副大臣、現在は議院運営委員会理事・自民党国会対策委員会副委員長が就任している。

▽事務局電話(03)3272-4320 専務理事・清原淳平、総務 重田、高津